事業者名	石川県									
機器名	3次元デジタイザ									
写真										
特徴・用途	非接触で物体の形状をデータ化することができる装置。入手データを使ったCADデータの作成や、設計CAD データと実物との誤差評価が可能で、品質管理やリバースエンジニアリングに用いられる。									
設置場所	石川県工業試験場 精密測定室									
利用状況	<b>4.</b>	稼働日数	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究•	その他	利用件数	
	年月	(日)			件数(件)	時間(時間)	・共同研究 (件)	(件)	計(件)	
	H 26年1月								0	
	H 26年2月	10						1	1	
	H 26年3月	11						1	1	
	H 26年4月	14		2				1	3	
	H 26年5月	16		3	8	37	2		13	
	H 26年6月	14		1	6	21			7	
	H 26年7月	12	1	3	3	12			7	
	H 26年8月	13	1	2	3	38	2	1	9	
	H 26年9月	13		1	3	15	2	1	7	
	H 26年10月	12		1	3	21			4	
	H 26年11月	13		2	7	32	2		11	
	H 26年12月	11		1	3	14	2		6	
利用者等の声	・造作物の形状把握が容易になり、加工工程の改善や新たな加工技術の開発のハードルが下がり、スピーディー、低コストな新製品開発・製品改良に役立てられる。 ・開発製品の時間による変化や、使用による変化などの結果予測が容易となり、製品の開発・改良効率が上昇した。									
研究開発事例 等	〈コンピュータによる解析の最適化〉・製品開発においては、製品に生じる変形を予測する必要があり、試作の手間を減らすためコンピュータ解析を利用していたが、その解析精度と実物との間でズレが生じる問題があった。・実際に製品を変形させた際の形状を三次元デジタイザで測定し、コンピュータ解析の結果と比較検証を行い、ズレの削減手法を研究している。この解析精度向上によって、製品の開発・改良スピード向上とコスト削減につなげられる。									
補助事業概要 の広報資料	http://ri	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-023koho.pdf								

事業者名	石川県										
機器名	蛍光X線分析装置										
写真											
特徴·用途	元素の種類と含有量を分析する装置。 液体試料の分析が可能で、精度も高く、製造工程での管理分析や新素材開発などの用途に利用される。										
設置場所	石川県工業試験場 発光·X線分析室										
利用状況	年月	稼働日数	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備	貸出・利用時間(時間)	受託研究· 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数計(件)		
	H 26年1月		(117				(117		0		
	H 26年2月	10	6	2			1		9		
	H 26年3月	11	2				2	3	7		
	H 26年4月	10	1				1	2	4		
	H 26年5月	11	2				1	3	6		
	H 26年6月	12	3				2	3	8		
	H 26年7月	10	2				1	4	7		
	H 26年8月	10	1				2	2	5		
	H 26年9月	12	3	2			1	5	11		
	H 26年10月	11	3				1	2	6		
	H 26年11月	14	2					4	6		
	H 26年12月	11	2					5	7		
利用者等の声	・水分中の微成分の分析が、迅速かつ高精度に実施することができ、品質管理に大いに役立っている。 ・(試験分析の前処理が簡素化され、スピーディーな分析が可能となったことで)クレームに対する迅速な対応ができた。										
研究開発事例 等		・物質の成分分析がスピーディーかつ高精度に行えるようになったことから、アルミスラッジを利用した珪藻 土レンガや高耐熱・高断熱レンガの研究開発に取り組んでいる。									
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-023koho.pdf										